

いちご栽培におけるハダニ類防除について

9月に入り8月の暑さも和らぎ、朝夕は少し涼しさを感じる季節となりました。しかし、秋雨前線の影響や今季最大級の台風の接近等、雨の日が続いており、多くの災害級の被害がでております。また、農業場面においては大雨の影響による各種農作物の病害虫被害の発生が、例年になく心配されるところです。さて今回は、県内全域で発生が多いと発表された、いちごハダニ対策として関連情報について取り上げました。

1. いちごハダニ発生状況

長崎県病害虫防除所の8月前期のいちご育苗床での巡回調査(30筆)結果によると、寄生株率20.8%(平年11.0%)、発生圃場率83.3%(平年50.2%)と平年よりも高い状況(図1、図2)また、今後も気温も高く、発生の好適条件が続く可能性があることから、8月18日付けでいちごハダニ類(ナミハダニ、カンザワハダニ)の注意報を発表しております。(昨年も8月16日に注意報発表。)

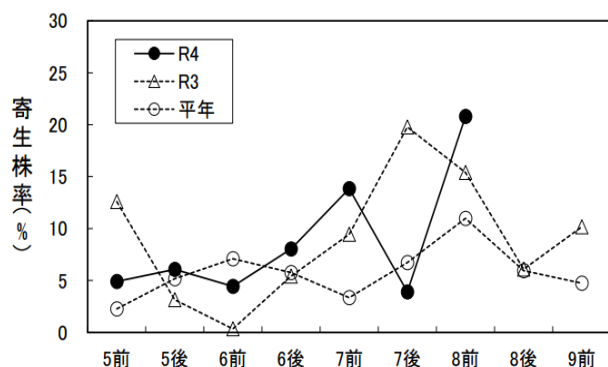


図1 ハダニ類 寄生株率の推移

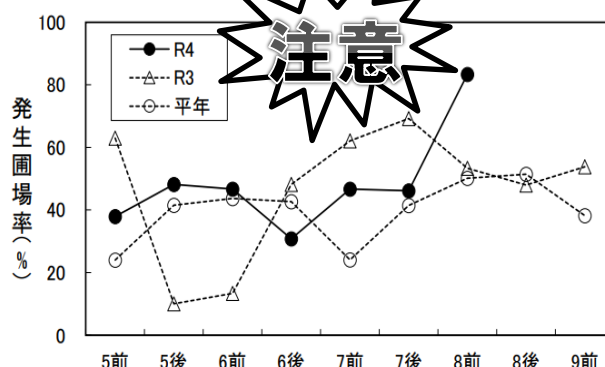


図2 ハダニ類 発生圃場率の推移

2. いちごハダニの生態について

ハダニの発育経過は卵→幼虫→第1若虫→第2若虫と3回の脱皮を行い成虫になります。卵から成虫までの発育期間は、温度によって左右されますが、約2週間となります。年間の発生回数は暖地で15世代と言われており、1雌成虫の産卵数は100~150個と多いため増殖率が高いのが特徴です。

それ故に、ハダニ類は殺ダニ剤に対する抵抗性を獲得する可能性も高いので、ローテーション防除や天敵利用が効果的となります。

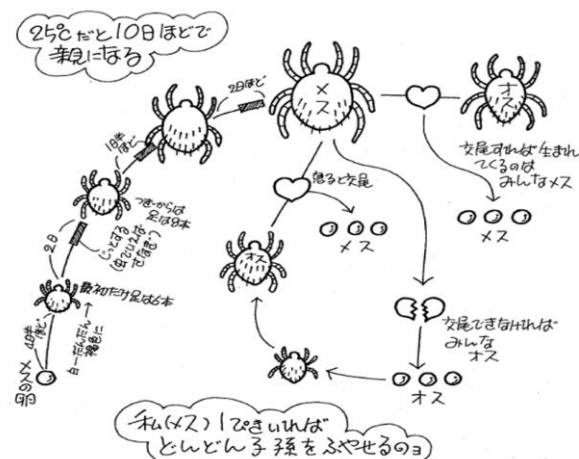


図3 ハダニ類の生活環(おもしろ生態とがしこい防ぎ方より)

以下に長崎県内のいちごナミハダニに対する感受性検定結果についてまとめておりますので、ローテーション防除の際の参考にいただければと思います。

表1 令和3年度いちごナミハダニ薬剤感受性検定結果（補正死虫率）		（％）					
		スターマイト フロアブル ※（25A）	ダニコング フロアブル （25B）	アフーム 乳剤 （6）	アグリメック （6）	グレーシア 乳剤 （30）	ダニオーテ フロアブル （33）
長崎市	常用	76.1	62.3	81.5	93.8	100	100
（琴海）	3倍	66.3	50.5	77.6	81.8	94.9	100
大村市	常用	58.1	50.4※	72.1	92.8	91.8	100
（松原）	3倍	48.9	50.7※	83.5	41.5	69.7	98.9
大村市	常用	87.0	80.8	85.9	91.3	100	100
（岩松）	3倍	81.7	57.3	95.9	96.3	100	100
雲仙市	常用	57.2	67.9	96.8	77.9	97.1	100
（国見）	3倍	55.0	67.1	60.6	37.0	97.6	100

※大村市（松原）はダブルフェースフロアブルで実施
 ※補正死虫率90%以下はセルを塗りつぶした
 ※表中の数値はハウス単位で採取したハダニの結果、各地域全体の感受性を反映したものではない
 ※（ ）内はIRACコードを示す

4. 天敵を利用する際の防除ポイント

薬剤抵抗性を獲得したハダニ類の防除対策の一つとして天敵の利用があります。従来の化学農薬による防除にカブリダニ類（ミヤコカブリダニ、チリカブリダニ）の放飼を組み合わせることでハダニ類の密度を低下させる手法です。ここでは天敵を利用する際の防除ポイントについて放飼前と放飼後に分けて記載します。

（1）放飼前

天敵を使用する際は、ハダニ類の本圃への持ち込みを極めてゼロに近づけた上でなければ上手くいきません。そのため、基本的には育苗期の防除を徹底する事が最重要となります。また、定植後、放飼前にハダニ類へ効果が高く、天敵への影響が小さい剤（ダニオーテフロアブル、ピタイチなど）を散布し、徹底防除することが重要です。“ゼロ放飼”が天敵の効果を安定させるためにも重要なこととなります。

（2）放飼後

放飼後にハダニ類がスポット的に発生した場合は、天敵に影響の少ない剤（気門封鎖剤等）によるスポット散布が有効です。ハダニ類以外のアブラムシ類やアザミウマ類や灰色かび病や炭疽病等の病害虫防除に関しても天敵に影響の少ない薬剤を散布するようにしましょう。

以下に主な気門封鎖剤についてまとめておりますのでご参照ください。

表2 代表的な気門封鎖剤について

商品名	希釈倍率	使用時期	殺卵効果	展着剤加用	備考
ピタイチ	500倍	収穫前日まで	○	必要なし	※詳細は次ページ参照。
アカリタッチ乳剤	2000倍	収穫前日まで	×	必要なし	薬液がたまる状態だと薬害の可能性があるので、薬液の乾きやすい時に散布する。
フーモン	1000倍	収穫前日まで	×	必要なし	展着剤の効果もある。ストロビルリン系薬剤との同時施用、近隣散布避ける。
サフオイル乳剤	300～500倍	収穫前日まで	○	必要	高温時の散布は薬害を生じる恐れがあるため展着剤（濡れ性；湿展性のもの）を加用する。
粘着くん液剤	100倍	収穫前日まで	×	必要なし	

お待たせしました！いちごの気門封鎖剤「**ピタイチ**」再販売開始！



®は協友アグリ(株)の商標登録

本剤は、食品添加物を有効成分とするいちごの気門封鎖剤であり、ハダニ類・アブラムシ類・アザミウマ類・うどんこ病の登録がございます。（表 1）。また、べたつきにくいため収穫期の散布にも向いています。



尚、ピタイチは 2019 年に販売を開始しましたが、その後に施行された政令にて『劇物』扱いとなったため、販売を一時停止しておりました。この度、処方改良によって『普通物』（毒物および劇物に該当しないものを指している通称）に戻ったため、販売を再開しました。

表 3 ピタイチ登録内容（2022 年 9 月 22 日時点）

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	グリセリン酸エステルを含む 農薬の総使用回数
いちご	うどんこ病 ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類	500倍	100～ 300L /10a	収穫前日まで	—	散布	—



▲ピタイチ紹介動画▲

👍ピタイチの特長その1 ハダニ類に対しての効果が高い！！

ピタイチは、ハダニ類の卵～成虫まで活性がございます（図 1）。ハダニが急増する時期にもおすすめ！

注意点：ハダニ類は主に葉裏に寄生しています。
薬液を葉裏までしっかりかけましょう。

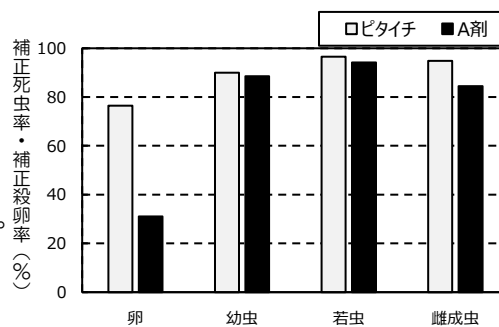


図 4 ピタイチのナミハダニに対する生育ステージ別の活性

2021年 協友アグリ(株) 研究所 供試虫：ナミハダニ 試験方法：リーフディスク法
供試薬剤：ピタイチ500倍、A剤を回転散布塔で300L/10a相当量散布
調査方法：雌成虫・幼虫・若虫；処理2日後に生体数を調査し、補正死亡率を算出
卵；処理7日後に孵化・未孵化卵数、生体幼虫数を調査し、補正殺卵率を算出

👍ピタイチの特長その2 アザミウマ類に登録のある気門封鎖剤はピタイチだけ！

2022 年 9 月 22 日現在で、気門封鎖剤の中ではピタイチだけがアザミウマ類登録を有しています。ハダニ類に対する活性ほど高い効果は示しませんが、複数回の散布で密度増加を抑制します。

注意点：成虫の飛来が多いと、十分な効果が得られない場合がございます。

👍ピタイチの特長その3 殺虫剤・殺菌剤との混用散布にもおすすめ！

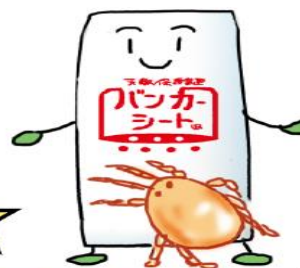
化学薬剤と混用することで、防除効果を補完することができます。また、薬剤抵抗性の発達を回避することにもつながります。

※ただし、ストロビルリン系薬剤との混用は薬害を生じる可能性があるため避けてください。

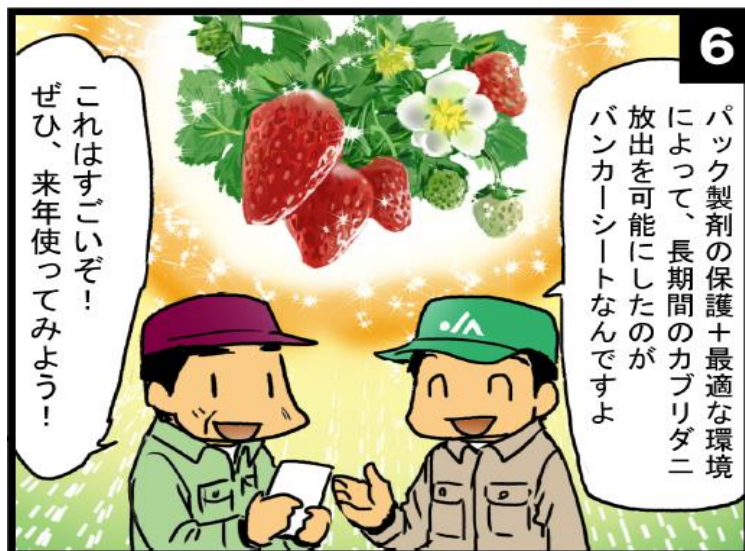
注意点：混用事例表をご参照ください。なお、混用事例表に記載があっても、いちごの生育ステージ、気象条件、栽培条件などによって適合しない場合がありますのでご注意ください。

天敵保護装置 ～バンカーシート～

プラスα
マンガシリーズ
第71弾！！



ミヤコバンカーは、ハダニ類から大切なイチゴを守ります！！



引用：令和4年度病害虫発生予察注意報第3号いちごハダニ類、令和3年度いちごナミハダニの薬剤感受性検定結果（長崎県病害虫防除所）、おもしろ生態とかしい防ぎ方（井上雅史 農文協）、九州営農資材事業所作成マンガ
記事提供：いちごの気門封鎖剤「ピタイチ」について（協友アグリ株式会社）

※10月号に記載されている内容はJ A全農ながさきのホームページに掲載されています。

J A全農ながさきホームページ URL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>